



檜原学園
Hinohara Gakuen

檜小だより

檜原学園檜原小学校



11月号

令和4年度

11月1日(火)

ホームページアドレス <http://rlco.jp/hinoharasyougakkou/>

学校・保護者・地域の連携 学校運営連絡協議会より

校長 下川 耕史

朝晩大分冷え込むようになりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。早いもので、今年も残り2か月となりました。一年で一番長いと言われる2学期も半ばを過ぎました。9月、10月と校外学習やふるさと檜原学習発表会など多くの行事に子供たちは取り組んできました。子供たちの様子を見てみると、これらの行事を通して、自主性や自己肯定感が高まっているように感じました。引き続き、子供たちの体験を重視し、自己有用感を高められるよう進めていきたいと思えます。

さて、先日檜原小学校学校運営協議会を開催しました。その中で、委員の方から「このような会議を行っていることを保護者の皆様に発信してほしい」とご意見をいただきました。そこで、今回この学校運営連絡協議会についてお伝えさせていただきます。

学校運営連絡協議会の目的は、「保護者や地域住民との意見交換を行い、家庭・地域と一体となって、地域に開かれた学校づくりの推進や教育内容の改善・充実を図り、信頼される自主的・自立的な学校運営を行う」ことです。そこで、檜原小学校では、保育園や児童館、PTAの役員の方などに委員を委嘱し、年間3回開催しています。内容は、学校の学習や生活への取組についての説明・協議や全学年の授業参観等です。

今回の本協議会では、委員の方から次のようなご意見をいただきました。

- ・全学年、学習の様子を見るととても落ち着いている。
- ・以前に比べて、少しふくよかな児童が増えているように感じる。
- ・本が好きな児童が増えているように感じる。
- ・稲刈りなど行事を通して、しっかりと児童は学んでいる。また、自分で考えることができる児童が増えている。
- ・ウィーンのプロの音楽家の演奏を聴く良い機会を小学校も活用できるとよい。連合音楽会は、保護者を入れ替えて参加できるような形をとってもらえるとありがたかった。
- ・児童館と違う姿が見られてよかった。
- ・SNSトラブルが他地域で多くなっている。学校での指導で協力できることがあれば伝えてほしい。

子供たちのがんばっている様子や成長を褒めていただき、大変有難く感じました。また、行事の充実につきましても評価をいただきました。今年度はコロナ禍ではありましたが、できる限り体験を重視し、他機関等と連携し進めてきました。その結果3年ぶりの臨海学園での水泳や他校との直接交流などを実施することができました。まだまだ、子供たちの安全・安心を守る中での行事の実施には制約がありますが、今回いただいた意見を反映させながら、子供たちが体験活動を通して大きく成長できるように進めて参ります。

学校・家庭・地域との連携について改めて教育基本法を見てみますと、「学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。」と記載されています。これを見るとやはり学校でできること・保護者の方ができること・地域の方ができることを捉えながら、連携していく大切さを感じるのではないかと思います。

保護者の皆様には、日頃からの学校教育へのご協力に改めて感謝を申し上げますとともに、今後の一層の連携につきまして、ご支援を賜りますようお願い致します。

元気アップウィーク



10月17日(月)から10月23日(日)まで、2学期の元気アップウィークがありました。家庭においても取組へのご協力ありがとうございました。

学校では10月6日(木)の元気アップ集会では、体育委員会が中心となりダンスを行いました。

また、体育委員会が中休みの元気アップの取組として、「おにごっこ・ドッジボール・長縄・しっぽとり」を行いました。11月の末には学園のマラソン大会もあり、元気アップ週間の後も、体力向上に向けての取組があります。継続して運動することで疲れにくい身体になったり、今までできなかった運動ができるようになったりと運動の楽しさを感じてもらえれば嬉しいです。

元気アップウィーク担当 島崎 美咲

11月の生活目標

相手の気持ちを考えて 行動しよう!



相手の気持ちを考える。高学年になってくると考え方や感じ方が人によって違うことに気付き、相手がどんな気持ちになるのかを考える事ができるようになります。中学年だと、自分ならどう思うのか?という点から相手がどう思うのかを考えていきます。低学年では、相手がどんな気持ちになるのかを教わることで理解できることもあります。

どの学年でも相手の気持ちについて対話を通して聞くことが大切ではないかと思えます。

11月は東京都られあい月間です。交流を通して相手の気持ちを考える事ができる1か月にしていきたいと思っています。

生活指導担当 堀本 太郎

生活科見学

10月21日に、1・2年生で小峰公園に生活科見学に行ってきました。小峰公園では、秋の植物を使用した「しぜんビンゴ」や「しぜんのレストラン」を行いました。

子供たちは5つのグループに分かれ、リーダーとなった2年生が1年生に優しく教えている姿がたくさん見られました。1年生もルールを守り、秋探しを熱心に行っていました。今後も異学年の交流をしながら、学習を進めていきたいと思えます。



2年担任 市岡 裕美

マラソン大会

11月26日(土)に檜原学園マラソン大会を実施します。当日は、9時30分から11時30分頃まで、公道を使用するのロードレースを行います。

PTAの方には、安全管理のお手伝いもいただき予定になっております。ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。また、子供たちの応援につきましてもどうぞよろしくお願い致します。

【時程】 9時40分：開会式(小学校校庭)

10時 : 3・4年生出発

10時20分：1・2年生出発

10時33分：5・6年生出発

11時 3分：7~9年生出発

11時20分：閉会式(小学校校庭)

※時間は前後する場合がありますのでご注意ください。

マラソン大会担当 根本 夕芽

Tokyo Global Gateway (体験型英語学習施設)

10月7日に4年生が、26日に6年生がTGGに行ってきました。子供たちは、英語で物を注文したり、発表をしたりと、たっぷり英語に触れる一日となりました。



阪本小学校交流

10月11日(火)に中央区立阪本小学校との交流がありました。阪本小学校の児童27名を檜原小学校に迎え、檜原小学校の案内や檜原村の紹介、交流ドッジボール、弘沢の滝案内を行いました。両校の児童で作ったグループでは、すぐに仲良くなり、好きな遊びや趣味などについて楽しそうに話している姿が見られました。

10月24日(月)には、檜原小学校の児童が阪本小学校を訪問しました。阪本小学校は6階建てで校庭が屋上にあることを知り、檜原小学校の児童はとても驚いていました。

村外の学校との交流を通して、自分たちの住んでいる村のよさを感じる良い機会となりました。



4年担任 根本 夕芽

柵設置(畑の被害対策用)のお礼

これまで学校で苦慮していた畑の被害を防ぐために10月22日(土)にPTAの方や4年生の有志により、柵を設置していただきました。これで、子供たちが懸命に育てた植物を守ることができます。誠にありがとうございました。



連合音楽会について

11月2日(火)に行われる西多摩郡連合音楽会では、会場が広く、児童間及び客席までの距離が確保されるため、教育委員会と協議した結果、マスクの着用は任意となりました。ご質問等ありましたら学校までご連絡ください。